

Sankka

讃歌
秋号

京都九条病院 Communication Book

◎特集①

リハビリテーションで
心大血管疾患の
再発を抑止。

◎特集②

救急医療功労者厚生労働大臣賞受賞

これからも、
救急医療のさらなる充実を目指して
第一線で活動していきます。

ゲストリレーション(総合案内)

ホスピタリティの心で、皆さんをお迎えします。

◎コミュニケーション広場

- 知つてよかった「お薬豆知識」講座(第29講目)
- 暮らしの中で病氣予防「健康ライフ」講座(第38講目)
- ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第53弾)
- 私の病院自慢あれこれ(第53回)

◎院内散策④⑤

- 脳卒中市民講習会



院長 松井淳球



循環器内科 福地浩平

vol.53
2019 Autumn
秋号

特集

1

リハビリテーションで 心大血管疾患の再発を抑止。

循環器内科福地医師をはじめ、
検査部、リハビリテーション部に
心大血管疾患のリハビリテーションについて聞きました。

心大血管疾患の方に
安全なレベルの運動を

福地 心不全や狭心症、心筋梗塞などの冠動脈疾患、いわゆる心大血管疾患の方を対象に、運動リ

ハビリテーションを行っています。心臓カテーテル治療によって症状が回復し退院された後、また冠動脈が詰まって治療を受ける、といったように何度も入院を繰り返す方がおられるのですが、そうした疾患再発の多くが肥満、高血圧、



Kohei Fukuchi

京都九条病院 福地 浩平
循環器内科

高血糖などの生活習慣病に起因しています。そのため、再発抑止には運動療法を取り入れたいエッセンスをし、血圧値、血糖値を改善することが重要なのですが、運動習慣がない方も多く、運動習慣がある方でも疾患を抱えながら自己流で運動をするのはとても危険です。そこで、科学的に安全なレベルで運動していただくために、循環器内科によるリハビリテーション治療を、検査部、リハビリテーション部とともに進めています。

当院では、まずCPX(心肺運動負荷試験)検査をしつかり行った上で、リハビリテーション部の理学療法士による指導を受けながら運動をしていただいています。



写真後列左より、リハビリテーション部 教務管理課課長 竹岡、検査部 生理検査課長 真田、リハビリテーション部 教務管理課 今西、写真前列左より、看護部 2階病棟看護師係長 庄田、循環器内科 福地医師

真田 CPX検査では、1分間に酸素をどのくらい吸っているか、その時二酸化炭素をどのくらい吐いているかなどを測定し、運動能力や心筋機能の指標などを算出します。この検査によってどの程度の運動をしたらよいかという基準を決め、そのデータをリハビリテーション部に送ります。

竹岡 リハビリテーション部では、その検査結果に基づいて、安全なプランを立て、患者さんに運動を行っていただきます。少ない方で週1回、多い方では週3回の運動がされており、1回の運動時間は1時間くらいですが、毎回、体重や血圧などを図って変化をデータ化し、それらのデータをチェックしながら、きめ細かく指導しています。

今西 運動中はずっと画面で心電図をモニタリングし、もし不整脈などが出た場合には、直ちに医師に連絡して診てもらおう体制を整えています。医師と連携し、直ちに適切な対応が取れるのも病院でのリハビリテーションの強みです。

福地 自己流で運動を行うと、つい無理をして過度な運動量になってしまう場合があります。ある運

動量を超えると、有酸素運動ではなく無酸素運動になって乳酸が溜まる状態になってしまうのですが、こうした無酸素運動は心大血管疾患の患者さんにとって特に危険だとされており、せつかくの運動がかえって疾患を悪化させてしまうことにもなりかねません。また、どれくらい負荷をかけていいかわからないと、効果のない運動になってしまうこともあり、それぞれの患者さんの運動能力や心筋機能に合った運動をすることが大切です。当院では、医師、検査部、リハビリテーション部の連携により、科学的な検査データに基づいた安全なレベルの運動を行っていただけます。さらに、運動中は理学療法士がマンツーマンでサポート・指導をしますので、安心してリハビリテーションに取り組んでいただけます。

適切な運動は
精神面にも好影響

竹岡 すでに十数名の方が当院のリハビリテーションに取り組んでおられますが、皆さん結構楽しく

OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。
さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す
前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- 1 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- 2 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- 3 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- 4 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- 5 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- 6 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- 7 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクエアを進めます。
- 8 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- 1 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、十分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



CPX(心肺運動負荷試験)検査装置

運動していただけているようなので、リハビリ参加カードを作成し、その日その日の状態(体調)、成果をご自分でも確認できるようにしています。

今西 運動習慣が付いてきたのか、なかには「これくらいの運動なら家でやっても大丈夫ですよ」とい

うアドバイスをする、散歩するようになったとおっしゃる方なども増えています。

福地 疾患を抱えているとつい家にもこもりがちになったり、何事にも消極的になってしまう方が多いのですが、運動のペースができるので、生活のリズムも作られ、精神的な張り合いも出てきます。リハビリテーションは血糖値やコレステロール値を下げるといった効果はもちろん、こうした精神的な面でもさまざまな効果が期待できます。カテーテル治療を受けた方や狭心症疾患の方には、ぜひ当院のリハビリテーションを積極的に利用して再発を防いでいただきたいですね。

睡眠時無呼吸症候群の治療にも取り組んでいます

福地 睡眠時無呼吸症候群というのは睡眠中に呼吸が止まる病気です。医学的には、1時間に5回以上、10秒以上呼吸が止まる場合、睡眠時無呼吸症候群と診断します。睡眠時無呼吸症候群になる人は、いびきをかく人、太っている人、多量のお酒を飲む人、喫煙者に多く見られます。

太っている人の場合、上むきの姿勢で寝ると喉が下に落ち込み息が止まってしまうので、そういう人にはシーパップというマスクを装着してもらう治療を行っています。

す。シーパップは圧を加えて寝ている間もしっかり呼吸ができる状態にする装置で、これによって症状が改善されます。また、このシーパップ装着と並行して、ダイエットや禁煙、酒量を減らすなどの生活習慣の改善指導も行っています。

睡眠時無呼吸症候群を発症すると、昼間眠くなったり体がだるくなったりすることから集中力が低下し、日常生活にさまざまなリスクを及ぼす可能性があります。居眠り運転で事故を起こした人の中には、実は睡眠時無呼吸症候群で夜に十分な睡眠が取れていなかったことが原因だったという場合もあり、社会的にも問題に

なっています。多くの潜在患者がいると推計されていますが、一人暮らしの方など自分で気づきにくい場合もあり、受診・治療に來られる方はまだまだ少ないのが現実です。そこで、私たちは病気の啓発を目的に、10月から企業訪問活動を始めました。睡眠時無呼吸症候群についての知識を広げるとともに、この機会に隠れた患者さんを見つけ、治療につなげたいと考えています。

眠りが浅い、睡眠中にしばしば目が覚める、いびきがひどいといった方は、睡眠時無呼吸症候群の疑いがありますので、ぜひ一度受診し、治療を受けることをお勧めします。

◎救急医療功労者厚生労働大臣賞受賞

これからも、
救急医療のさらなる
充実を目指して
第一線で活動していきます。



Tarumi Yamaki

京都九条病院
名誉院長

山木 垂水

令和元年度救急医療功労者として厚生労働大臣表彰を受賞し、救急の日である9月9日に表彰を受けました。この表彰は、各都道府県で一名ないし一団体が推薦を受けて授与されるもので、大変名誉なことと思っております。

私が20年間にわたって京都九条病院の救急医療の現場に携わり、地域の皆さんに質の高い救急医療を提供してこられたのは、当院の全職員が救急医療に対して深い理解を持ち、「生懸命協力をしてくれただからこそであり、この表彰は、こうした病院の頑張りに対していただいたもの、病院として認められたものとして、職員一同とともに喜びたいです。

私は、京都府立医大を卒業し、同大学の脳神経外科助手として働いた後、昭和56年、滋賀県の病院に脳神経外科部長として赴任しました。

当時、滋賀県の湖南地区には脳外科疾患に対応できる救急病院がなく、救急患者の多くを京都の病院まで搬送しなければならぬ状況だったのです。そこで、脳神経外科を含む救急医療をスタートさせました。ここで救急医療に携わり、経験を積んだ後、大



学に戻り頭部外傷に関する基礎的な研究を行いました。

京都九条病院に着任してからは、院長の仕事と並行して救急医療の現場に精力的に携わってきました。

当院は、私の着任以前から救急病院として頑張っていたのですが、さらなる拡充を図りたいと力

を入れてきたことが今日の成果につながっています。こうした歩みの中で、スタッフの救急医療に対する理解もより深まり、5名の医師が当院での救急医療の実績を生かして日本救急医学会専門医の資格を取得しました。現在では私のほか、松井院長、榊原副院長、甲原救急部長、北川消化器外科部長、平井脳卒中センター長、嶋津循環器内科部長と、7名もの救急科専門医が揃う病院となりました。加えて、他の医師やスタッフも救急に対する理解が非常に深く、すぐに連携して協力体制が組めるというのも当院の強みです。

また当院では、京都橘大学、明治国際医療大学の救急救命士の実習生を受け入れている他、京都市消防学校の救急救命士就業前病院実習や現任救命士個人派遣型病院実習も受け入れ、京都府の救急医療の発展に貢献しています。

この度の受賞を励みとしてこれからも今までと同様に医療現場の第一線で活動し、地域医療の根幹である救急医療の発展に努めていきたいと考えています。

「患者の義務」に関する宣言

医療は、協働作業であり、患者さまの主体的な参加の上に成り立つものであるため、患者さまには次のような義務があります。

- ① 医療者側に正確な情報を提供するとともに、疾病や医療を十分理解するよう努力する義務があります。医師をはじめとする医療提供者に、自らの心身あるいは生活について必要な情報をできるだけ正確に知らせるとともに、納得するまで質問するなどして自らの疾病や医療について十分理解するよう努力する義務があります。
- ② 医療に意欲を持って取り組む義務があります。検査や治療について、納得し合意した方針には意欲を持って取り組む義務があります。
- ③ 快適な医療環境作りに協力する義務があります。すべての患者さまが快適な環境で医療が受けられるよう、病院内での規則と病院職員の指示を守る義務があります。また、社会的なルールを尊重し、他の患者さまの治療や検査、療養生活に支障を与えないように配慮することや、医療費を適切にお支払いいただくことも要求されます。



お気軽に、お声がけください。

Guest relations

写真左より、長谷川、吉田、松本、大串、山下、原田

◎ ゲストリレーション(総合案内)

ホスピタリティの心で、皆さんをお迎えします。

京都九条病院に来られた方を最初にお迎えするのが、私たちゲストリレーションです。ゲストリレーションは、病院に来られたゲスト(患者さん・ご家族の方・面会の方・業者の方など)を適切なスタッフにつなぐ(リレーする)という役割を担っています。

来院される方の目的はさまざまです。まずその目的をしつかりとお伺いし、各専門のスタッフにつなぐ案内をしています。また、初めて来院される方はもちろん、迷ったり困ったりされている方には、こちらからお声がけをしてお手伝い、さらには待合室で受診をお待ちの方

はもろろん、迷ったり困ったりされている方には、こちらからお声がけをしてお手伝い、さらには待合室で受診をお待ちの方

私たちの仕事は、こうした案内業務に加えて再受付機や自動精算機の機械操作の説明やお手伝い、さらには待合室で受診をお待ちの方

の様子に目を配るなど多岐に渡ります。風邪気味の方や咳をされている方があればマスクをお渡ししたり、体調が悪く座っているのが辛そうな方には、医師や看護師に相談したうえで、ベッドで休んでいただけようとしています。来院時にはそれほどでもなかった方も、急に具合が悪くなる場合もありますから、常に注意を怠らないようにすること。来院された時から、皆さんに寄り添うことが、私たちの仕事です。

また、受付と連携して、患者さんからの問い合わせ電話を受ける業務も担っています。不安の中で電話連絡をしてこられる方も多く、電話連絡をしながら不安を少しでも軽減するため、できるだけお待ちさせないよう心掛け、「こんな症状で、受診したい」ということであれば、その日の診療科を確認して診療時間などを的確に伝え、スムーズに受診していただけるよう務めています。

また、受付と連携して、患者さんからの問い合わせ電話を受ける業務も担っています。不安の中で電話連絡をしてこられる方も多く、電話連絡をしながら不安を少しでも軽減するため、できるだけお待ちさせないよう心掛け、「こんな症状で、受診したい」ということであれば、その日の診療科を確認して診療時間などを的確に伝え、スムーズに受診していただけるよう務めています。

また、受付と連携して、患者さんからの問い合わせ電話を受ける業務も担っています。不安の中で電話連絡をしてこられる方も多く、電話連絡をしながら不安を少しでも軽減するため、できるだけお待ちさせないよう心掛け、「こんな症状で、受診したい」ということであれば、その日の診療科を確認して診療時間などを的確に伝え、スムーズに受診していただけるよう務めています。

また、受付と連携して、患者さんからの問い合わせ電話を受ける業務も担っています。不安の中で電話連絡をしてこられる方も多く、電話連絡をしながら不安を少しでも軽減するため、できるだけお待ちさせないよう心掛け、「こんな症状で、受診したい」ということであれば、その日の診療科を確認して診療時間などを的確に伝え、スムーズに受診していただけるよう務めています。



京都九条病院 医事課
ゲストリレーション 主任

山下 綾乃

当院でゲストリレーションが始まったのは約8年前。京都でもまだほとんど取り組んでいる病院がない中のスタートでした。当初は、私たちが「喜ばれるゲストリレーションとはどういうものか」を手探りしながらの業務でしたが、皆さんと接する中からどんどんと理解を深め、できる限りご要望に答えられるように努力を重ねてきました。8年を経て知識や経験を積み、受付などの指示を仰がずに対応できる部分も増えてきています。さらに自分たちのできることを増やし、より円滑でスムーズなリレーションを目指し、努力していきたいと思っています。

私たちが心掛けているのは、ホスピタリティ(心のこもったおもてなし)です。安心して受診していただけるように親しみやすい対応を行うとともに、来院される皆さんとのコミュニケーションを大切に、こちらからのお声がけはもちろろん、話しかけていただきやすい雰囲気を作ることが大切だと考えています。何かあったらすぐに聞ける、手助けしてもらえ、存在、そこにいることで安心感をもっていたいただける、そんなゲストリレーションを目指しています。

MEDICINE for HEALTH

知ってよかった「お薬豆知識」講座

講師：京都九条病院 薬剤部
副部長 薬剤師
國永 智昭
Tomoaki Kuninaga



クスリだけでなく 食物アレルギーも 申告ください!



「今までに薬でアレルギーや副作用が起こったことはありませんか？」診察時や服薬説明時の決まり文句ですね。「昔、ピリン系で蕁麻疹が出ました」「〇〇という薬で気分が悪くなった」など、薬物アレルギーの既往は安全な薬物療法に欠かせない情報です。同じくらい大切なのが食物アレルギーの有無です。質問があれば答えるけど、自ら申告する方は少ない印象があります。まさか牛乳アレルギーがあると飲めない薬があるなんて普通考えないですね。ですが、食物アレルギーがある方が注意すべき薬剤がいくつかあります。

どうして、食物アレルギーと薬が関係しているのか？それは、卵や牛乳、ゼラチンなどの食物成分をもとに製造される、あるいは製造段階で混入する薬剤があるからです。たとえば、卵アレルギーの

方が注意すべき薬剤は以下のようなものがあります。

▽処方薬

◎リゾチーム製剤(ムコソーム点眼液、リフラップシート軟膏)

◎インフルエンザワクチン(製造段階で鶏卵を使用)

▽市販薬

◎風邪薬(アネトン咳止めZ液、ベルゲンET錠、顆粒、パイロンAM、ワクナガフジコロン錠、プラタギン鼻炎カプセルS)、トローチ剤(セビートローチなど)、目薬(スマイル40、アイルビーA)など。

ほかにもリゾチームが配合された市販薬は多数あるので、薬局やドラッグストアでお求めの際にはご相談ください。さらに、病院で検査や治療で用いる注射薬もあります。

▽注射薬

◎ソナゾイド(鶏卵由来の添

加剤を含有、超音波検査で使用する場合あり)

◎サイビスクデイスボ関節注(ニワトリのトサカから抽出された成分を使用)

これからの時期、インフルエンザワクチンにも注意が必要です。インフルエンザにかかるリスクと鶏卵アレルギーの程度により、接種の可否を検討するので、医師に申告することを忘れないでください。

食物アレルギーの有無(卵、牛乳、ゼラチンなど)は薬剤アレルギーと同様に安全な薬物療法に欠かせない大切な情報です。

医療機関を受診した際に、問診表に記載するか医師または薬剤師に伝えましょう。お薬手帳には薬剤や食物のアレルギーを記載する箇所があるのでぜひ活用してください。

NURSING for HEALTH

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座

京都九条病院
看護部4階病棟

皆さんは ヘルニアという病気をご存じですか!!



●ヘルニアって何?

皆さんはヘルニアという病気をご存じですか。一般的に脱腸と言われ、中高年に多い病気です。ヘルニアの最初の症状は、股の付け根やお臍のまわりにふくらみが出ます。ふくらみの大きさはピンポン玉から鶏卵くらいで、横になったり軽く押えることで元に戻ったりします。そのため不安を感じながらも受診が遅れるケースが少なくありません。

通常腸管は硬い筋肉に守られています。加齢で筋層が弱くなると筋肉層に隙間ができます。そのような状態でお腹に力が加わった時に、腸の一部がお腹の皮の下まで飛び出した状態をヘルニアといいます。

●ヘルニアの治療

ヘルニアは薬で治すことはできず、基本的には手術が必要になります。ゆるんで隙間のできた筋膜の部分に人工の補強材を入れ、腸が飛び出さず。当院ではさらに手術の負担が少なくなるよう腹腔鏡下で行い、入院期間も3〜5日程度です。

ヘルニアを放置すると、腹膜炎や腸閉塞など大きな病気につながる可能性があります。そうなる前に生命に危険を及ぼす状態になります。それだけに腸が戻らない状態なら、手術を検討していきましょう。

●生活上の注意点

成人のヘルニアは、加齢に

よる筋膜の衰えに加え、お腹に力を入れることで起こりやすくなります。力を入る仕事や重いものを運んだりする仕事の方はヘルニアになりやすく注意が必要です。また、便秘がちでいきむことが多い方も要注意です。

休みながら作業を行う、便秘にならないような食事や運動を取り入れる、くしゃみや咳をおもいきりしないなどに気を付けましょう。そして股の付け根やお臍のまわりにふくらみが出た場合には、早めに受診するようにしましょう。





娘と過ごすひとときが、今の私にとって一番の充実した時間です。

子どもの笑顔が
エネルギー源
顔を見ると、
疲れもふっとびます。

FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 整形外科
大久保 敦
Atsushi Okubo



整形外科専門医として外来診療を行い、骨折などの急性期の外傷性疾患を中心に治療・手術を行っています。お困りの際は、気軽に受診していただければと思います。

私のエネルギー源は、何と言っても子どもの笑顔です。今2歳半で、可愛い盛り。単身赴任中で会えるのは週末だけなのですが、千葉の自宅に帰って顔を見ると、一週間分の疲れもふっとんで癒されます。よくテレビ電話で話しているものの、直接かまってることができないので、自宅に帰った時には動物園や水族館などにでかけ、できるだけ一緒に遊ぶようにしています。

学生時代は野球部員だった私。現在も整形外科医のチームに入って

いて、学会開催のときに行われる大学対抗の試合に参加しています。

年に数回ではありますが、私にとっては野球仲間と再会して、共にプレーができるよい機会、一緒になって楽しさを分かち合えることに、喜びを感じています。スポーツを見るのも好きで、調べ物の合間にプロ野球を中心にサッカーやラグビーの国際試合などをテレビ観戦しています。関東出身ということもあって実は巨人ファン。今年は巨人の調子が良かったので、楽しく観戦することができました。関西では阪神ファンの方が多いので、あまり大っぴらには喜べなかったのですが、クライマックスシリーズもワクワクしながら見ていたんですよ。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

京都九条病院のいいところ。
こんなところがわたしたちの自慢です。

病院のいいところが好き!!

好きな言葉
favorite word
「おもてなし」
寺井 健人
リハビリテーション部
理学療法士



リハビリスタッフの向上心が高いんです。勉強会も盛んで、皆が新しい知識を持ち寄り学び合っています。私は訪問リハビリも担当しているのですが、悩んだ時も1人で抱え込むのではなく、持ち帰って先輩に相談できるので、心強いですね。心掛けているのは、常に1人の人として利用者さんの尊厳を守ってリハビリをすること。とくに訪問リハビリの利用者さんは高齢の方が多いので、接遇でも人生の先輩として失礼のないよう心掛けて対応しています。

好きな言葉
favorite word
「前進あるのみ」
須山 奈見子
薬剤部 薬剤師



スタッフ同士が助け合っているので、働きやすい職場です。4階病棟を担当しているのですが、私の特技は、患者さんからさりげなく症状などを聞き出すこと。医師や看護師には遠慮して言いにくいことでも、「薬剤師になら言えるかな」と思ってもらえるように、話しかけやすい雰囲気づくりを心掛けています。私自身もアレルギーでいろんな薬や療法をたくさん試してきたので、そうした経験も生かし、患者さんにとってより楽で、効果的な薬剤投与の方法を探っていきたいと思っています。

好きな言葉
favorite word
「思いやり」
坂江 真弥
事務部 医事課



明るい雰囲気なのがいいですね。気軽に声をかけ合えるので、気持ちよく働けます。今年4月に入職して受付業務を担当していますが、先輩方に優しく教えていただき、だんだん患者さんと対面する仕事にも慣れてきました。最近は医療事務にも携わりたいという意欲が湧いてきて、資格を取りたいと考えています。受付に来られた方に丁寧に対応するのはもちろんですが、短い時間の中でもきちんと患者さんのニーズに応えられるよう努力していきます。

好きな言葉
favorite word
「思いやり」
脇 志希帆
看護部 4階病棟



看護部のスタッフは皆優しく、困っていればすぐ手伝ってくれます。それぞれ担当は決まっていますが、全員で助け合いカバーし合うので、仕事の流れもスムーズなんです。やりがいを感じるのは、患者さんから感謝の言葉をいただいたときですね。業務が忙しく、ついバタバタしてしまう時も多いのですが、できる限り丁寧に対応するようにしています。理想は、高齢でも看護師として働いていた祖母。経験を積み、もっと患者さんに寄り添える看護師になりたいと思っています。



院内散策
さんさん

④ 『脳卒中市民講習会』 主催 京都九条病院

昨年12月の「脳卒中・循環器病対策基本法」の成立に伴い、日本脳卒中学会によって、京都九条病院は一定の条件を満たし、さらに機械的血栓回収療法も行える「一次脳卒中センター」として認定されました。当院は、これからもより充実した脳卒中治療をご提供していく所存です。

脳卒中センターでは、10月19日(土)、「脳卒中市民講習会」を開催しました。これは、当院が脳卒中の周知・予防を目的として定期的に行っているもの、雨天にもかかわらず、大勢の地域の方にご参加いただきました。

松井院長の挨拶に続いて、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師が「脳卒中予防・再発予防」をテーマにレクチャーを行いました。「脳卒中に関する新しい法律ができたのを知っていますか」「脳卒中がどんな病気か知っていますか」などの質問をしながら、脳卒中死亡率は徐々に減ってきているもの、予後に要介護になる人が大変多いことや再発率も高いことなどを解説。また、脳卒中はどんな前兆症状が出るのかを紹介し、そうした症状が出たり、「あれっ」と思ったなら、すぐ救急車を呼んでほしいと呼びかけました。

次の「脳卒中を予防する生活習慣」のテーマでは、塩分の摂りすぎが脳卒中を引き起こす要因になることを説明し、食生活での注意を促しました。続いて、外食やお弁当を食べる際に塩分の摂取量を減らしたり、バランス良く栄養を摂る方法などを、栄養士がイラストなどを見せながら紹介。ソウメンやざる蕎麦は麺をつけ汁に全部つけない、丼ものはサラダと一緒に食べる、など具体的なアドバイスを行いました。

「脳卒中後のリハビリテーション」では、後遺症について説明し、再発を防ぐには運動習慣をつけることが大切であり、毎日運動をする



のが難しい場合は、日常生活でできるだけ立ったり座ったりする回数を増やすなどの心掛けをしてほしいと訴えました。

最後に、平井脳卒中センター長が、「脳卒中の最新治療」と題して、脳の大きな動脈に血栓が詰まった場合の急性期再開通治療を解説。さらに、現在の京都の脳卒中診療の実際について紹介し、今後は「二次脳卒中センター」が脳卒中治療の入り口になることを説明しました。

当院では、的確・迅速な治療の提供と並行して、今後もこうした「講習会」を継続開催していきたいと考えています。脳卒中を未然に防ぐためには、まず病気を正しく知ることが大切です。ぜひ皆さん、ご参加ください。



医療法人同仁会(社団) 京都九条病院

〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マムフローラ
〒617-0853 京都市長岡京市奥海印寺奥/院25-2 TEL 075-958-3388(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マムクオーレ
〒601-8326 京都市南区吉祥院南落合町40-3 TEL 075-691-7755(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 マムクオーレⅡ
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38 TEL 075-694-6655(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋羅城門町16 TEL 075-661-3820(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問リハビリテーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-694-6644(代)

医療法人同仁会(社団)
ヘルパーステーション マム
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内2階 TEL 075-694-6622(代)

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内1階 TEL 075-694-6222(代)

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町38マム・スクエア内2階 TEL 075-694-6699(代)

医療法人同仁会(社団)
ショートステイ マム
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町10 TEL 075-691-7667(代)

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-7766(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 075-691-5070(代)

医療法人社団 京健会
西京病院
〒615-0026 京都市京区西院北矢掛町39-1 TEL 075-313-0721(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋羅城門町30 TEL 0120-558-756

医療法人同仁会(社団) ホームページ www.dojinkai.com/